

市長が選ぶ 2024松阪市10大ニュース

1. (3月)郵便局における行政事務取扱開始

飯南・飯高・嬉野地域の5ヶ所の出張所廃止に伴い、窓口業務の一部を日本郵便株式会社に委託しました。委託先の川俣、波瀬、中郷の3つの郵便局では、住民票など公的証明書の交付のほか、国民健康保険の簡易な申請受付など52種類の手続きが可能となりました。

2. (4月)こども家庭センターの新設

妊産婦や子育て世帯、こどもに対する支援を一層充実させるため、健康センターはるる内に「こども家庭センター」を設置しました。今まで複数の部署にまたがっていた妊産婦支援、こども・子育て世帯支援業務を集約し、ワンストップの相談窓口体制が実現しました。

3. (6月)三基幹病院における「選定療養費」の運用開始

一次二次救急医療体制のあり方を検討し、病院と地域の医院・診療所等の機能分担の推進と、地域の救急医療を守るため、三基幹病院において、6月1日から救急搬送における選定療養費の運用を開始しました。

4. (8月)夢と感動をありがとう！パリ五輪で松阪ゆかりの選手が躍動

松阪市出身の上山紘輝選手(阿坂小、西中出身)と川端魁人選手(中原小、嬉野中出身)がパリ五輪陸上競技種目に出場しました。

上山選手は、男子200メートル及び4×100メートルリレーに、川端選手は男子4×400メートルリレーにそれぞれ出場されました。たくさんの夢と感動をいただきました。

5. (8月)国宝決定！「三重県宝塚一号墳出土埴輪」

松阪市が所有する船形埴輪を含め、宝塚1号墳から出土した278点が地方自治体所有の埴輪として全国で初めて「国宝」に指定されました。

宝塚1号墳の埴輪は松阪市文化財センターに収蔵され、「はにわ館」で公開しています。

6. (8月～9月)超ノロノロ台風襲来！

台風10号は、8月29日～9月1日の4日間にわたり大雨の被害をもたらしました。

中でも、阪内川では松尾地区より下流の約1万6,000世帯に、最も危険度の高い『緊急安全確保』が発令されました。また堀坂川では、約30mにわたり堤防が被災するなど、市内各所に甚大な被害が発生しました。『緊急安全確保』は県内で初めて発令されました。

7. (9月)安心して子育てができる環境の整備

9月1日からこども医療費助成制度が改正され、保護者の所得に関係なく、松阪市に住む18歳年度末までのお子さんの医療費自己負担額(保険適用分)が全額助成されるようになりました。

また小中学校に通う第3子以降の児童生徒の学校給食費がほぼ無償となりました。

8. (10月)市制20周年の公募事業が決定！

2025年は、市制20周年イヤーです。様々なイベントを予定していますので、一緒に楽しみながら市制20周年をお祝いしましょう！

9. (11月)市議会議員の定数24議席へ！

松阪市議会は、議会改革特別委員会において、議員定数を現行の28から4減の24とすると決め、12月9日の定例会最終日に、条例改正案を全会一致で可決しました。

次回の市議選(来年7月31日)から適用されます。

10. (12月)エントリー1万人突破！みえ松阪マラソン 2024

みえ松阪マラソン2024は今年で3回目の開催を迎え、3部門の総エントリー者数が初めて”1万人”を超えました。昨年の大会では、「全国ランニング大会100撰」にも選ばれ、全国各地のランナーから注目されています。

今年は、12月15日に開催される本大会を、松阪市のみなさんと盛り上げていきましょう！